



日野療護園  
フォーシーズン

東京都  
社会福祉  
事業団



# Four Seasons

No.88

2020年5月25日 春号

発行/編集：日野療護園 〒191-0034 日野市落川245-1 Tel 042-593-2421 Fax 042-593-0075 E mail hinoryo@hinoryo.org HP http://www.hinoryo.org

## にしざわえんちょう あいさつ 西澤園長 挨拶



ひごろ ひのりょうごえん うんえい りかい きょうりよく まこと  
日頃より日野療護園の運営にご理解、ご協力をいただき誠にあり  
がとうございます。

がつ にちづけ えんちょう ちゃくにん にしざわたくみ もう  
このたび、4月1日付で園長に着任した西澤巧と申します。

がつ おな ひのしなひ ななおふくしえん きんむ  
3月までは同じ日野市内の七生福祉園に勤務しておりました。

ひのりょうごえん かか すべ みなさま よ しせつ つづ  
日野療護園が、関わる全ての皆様にとってより良い施設であり続け  
るため、粉骨砕身取り組んでまいります。

こんご ねが  
今後とも、どうぞよろしくお願いいたします。



しんがた もうい れいわ ねんど さきゆ ふとうめい なか はらん まくあ  
新型コロナウイルスの猛威により、令和2年度は先行き不透明な中での波乱の幕開けとなっ  
てしまいま  
した。感染症対策については、全職員が常日頃から十分な配慮を心がけておりますが、予  
測不能の  
さいきん あいて じょうじ ちゃくよう てあら てっぺい みつ みっぺい みっしゅう みっせつ  
細菌が相手ということもあり、常時マスク着用、手洗いうがいの徹底、3密（密閉・密  
集・密接）  
かいひとうとう いじょう さいしん ちゅうい はら はっせいぼうし はか なか  
の回避等々、いつも以上に細心の注意を払うことで、クラスター発生防止を図っています。  
そんな中、  
こんねど おお しんき てんにゅうしょくいん むか い みないちよう はんぶんかお かく  
今年度も多くの新規・転入職員を迎え入れました。皆一様にマスクで半分顔が隠れてしま  
っている  
ため、残念ながら表情は読み取りにくいのですが、残り半分からうかがえるまなざしからは、やる気・  
げんき やさしさ しんけん まえむ かんじょう つた しょしん たいせつ  
元気・やさしさ・真剣さ…といった前向きな感情が伝わってきます。そんな初心を大切にしながら、  
きそん しょくいん ちから あわ りょうしゃほんい てっぺい じぶんじしん せいちょう つと  
既存の職員と力を併せて利用者本位のサービスの徹底と自分自身の成長に努めていってくれると  
かくしん  
確信しております。

さいご りょうしゃなら しんぞくなど みなさま ちょうき わた めんかい がいしゅつ じしゅく ねが  
最後に、ご利用者並びにご親族等の皆様には、長期に渡り面会や外出の自粛をお願いすることとな  
り、大変申し訳ありません。この状況が終息を迎え、平穏な日常を取り戻すことができるまでの  
あいだ いまいちど きょうりよく ねが  
間、今一度ご協力のほどよろしくお願いいたします。



しんふくし  
新福祉サービス第2グループリーダー



今年度より、福祉サービス第2グループリーダーを務めさせていただきます、鈴木と申します。3月までは法人内の千葉福祉園で勤務しておりました。

桜やチューリップに囲まれたやさしく穏やかな雰囲気の中、新しい環境となり、利用者の皆様とともに働く職員から、たくさんの学びを得ながら日々業務を行っております。新たな学びとこれまでの経験を活かしながら、利用者の皆様が、安心、安全に生活が送れますよう努めてまいります。

どうぞよろしくお願いたします。

しん にん しん にゆう しょく いん しょうかい  
新任・新入職員紹介



今年度は園長も含め、全体として20名の新任・転任職員の皆さんをお迎えしました。新型コロナウイルスの影響と、あいにくの雨模様のため、室内でマスク姿での集合写真となりました。新しく業務を覚えることと並行してコロナウイルスへの対策が求められていますが、戸惑いながらも皆さん一生懸命支援にあたってくれています。例年になくスタートを切った当園ですが、今年度もどうぞよろしくお願致します。(記：小澤)





## 感染症対策研修

4月7日、新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言が発令されました。これを受け、園では職員自身が

感染しない・園内で感染させないことを目標に、利用者支援に関わる職員及び管理グループ職員を対象に

感染症対策の研修会を実施しました。

今年度は、当園の職員として春を迎えた方が例年より多かったため、日常の利用者支援上で行うべき

感染症対策（標準予防策）を中心に研修を行いました。標準予防策の基本は、ズバリ！手指衛生で

す。当園では、利用者支援に関わる職員へ入職時に個人用のアルコールジェルと専用携帯ポシエットを渡し

ています。職員は勤務中、必ず携帯し『1介助・1手洗い（アルコール消毒）』を実施しています。

感染リスクの高い支援を実施する際は、支援内容に応じてプラスチックグローブやエンボス手袋を使用し、

園内の感染リスクを低減できるよう、日常的に取組みを行っています。

今回の研修会では、手指の衛生の重要性について理解を深めるとともに、个人防护具（防護服）の着脱方法

についても学びました。特に脱衣は慎重を期す必要があるため、使用後のガウンや手袋の脱ぎ方、マスクの外し方

を参加者で確認しました。

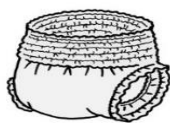
新型コロナウイルスへの対策は、マスクによる飛沫感染防止とアルコールによる手指消毒の実施が有効では

ありますが、基本的な石鹸と流水による手洗いがしっかりできることは重要です。なぜなら、アルコールの流通

が少なくなった場合やアルコールでは消失できない菌やウイルスへの対応が求められるからです。そこで研修で

は手洗いチェッカーを使用し、適切な手洗いについても指導を実施しました。

### <手袋が必要な支援の例>



排泄支援



傷に触れる可能性のある支援



口腔ケア



蛍光塗料の入った疑似汚れをつけて、手を洗います UV ランプを当てると、洗い残しが青く光って見えます



手洗い研修を実施した後に職員からは「洗い方によっては汚れが落ちないなんて、びっくりした」「自分の手洗いの癖（洗い残す場所）が分かった」等の感想が聞かれました。

手に付着した汚れや細菌・ウイルスをきちんと落とせる適切な手洗いや、アルコールによる手指衛生を行うことについて意識が高まったように感じました。

新型コロナウイルスの対応については、今後の研究やウイルスの解明が進むことにより対策も変化していくと思います。標準予防策をしっかりと実施した上で、必要な対策を取り入れながら、園の罹患リスクを低減できるよう取り組みを継続していきます。

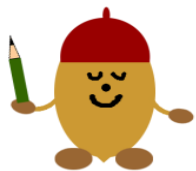
はなみしゅうかん  
お花見週間

感染症対策委員会



3月23日から27日の間をお花見週間として、お天気のいい日に満開の桜を見ながらのお茶会を実施しました。当日の天気に左右されつつも、短い時間ではありましたが多くの入居者の方に楽しんでいただきました。皆様、満開の桜を笑顔で見上げて、のびのびと過ごされていたように感じました。ホールへ戻られる際には名残惜しそうにされている方もいました。

新型コロナウイルスの感染予防のため、外出等が中止になった入居者の方にとっていい気分転換になったのではないかと思います。今後も可能な範囲でこのような活動を実施していきたいです。（記：田中）



今回は感染症拡大防止のため創作活動が出来ず、俳句コーナーはお休みとなりました。楽しみにして下さっている皆様、大変申し訳ありません。次回の作品にご期待ください。

へん 集 後 記

梅雨の気配を感じる今日この頃ですが体調管理に気を付けましょう。私も感染症対策防止研修に参加し、

手洗いの大切さを学びました。只今実践中です。